

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	高齢者生きがいがづくり推進事業			事業番号	04-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部	小林 幹夫	介護高齢課	山内 温子	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	2	みんなで支え合う福祉のまちをつくる	
		施策	4	高齢者の地域生活支援の充実	
予算事業名	シルバー人材センター運営助成事業費		教養趣味講座開催事業費	老人クラブ助成事業費	
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	努力義務規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	老人福祉法第2条、第4条: 基本的理念、老人福祉増進の責務、高齢者等の雇用の安定等に関する法律(シルバー人材センター)				
国・県の計画等	第6期かながわ高齢者保健福祉計画		計画期間	平成27年度～29年度	
関連個別計画	第6期伊勢原市高齢者保健福祉計画		計画期間	平成27年度～29年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	高齢化社会において、多くの高齢者がその知識や経験を生かして地域を豊かにする活動が期待されている。更には、地域活動を通じて、仲間づくりや生きがいがづくり、健康増進に繋げる。				
目的 (何をどうしたいのか)	高齢者が培ってきた知識や経験を身近な地域社会で活かすことができるようにすることにより、高齢者の社会参加を促進する。				
主な対象 (誰・何を対象に)	60歳以上の市民				
事業内容 (手段、手法など)	・高齢者の生きがいがづくりを推進するため、シルバー人材センターや老人クラブ活動の支援や、教養趣味講座の開催など、高齢者の社会参加を促進します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	シルバー人材センター運営支援	継続実施	継続実施		
	教養趣味講座の実施	継続実施	継続実施		
老人クラブ活動支援	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	シルバー人材センター就業者数	661人	680人	680人	



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	高齢者が、元気に生きがいをもち、日常生活が送れるように、高齢者の社会参加を促進するため、シルバー人材センターの運営支援、教養趣味講座の開催、老人クラブ活動の支援を行う。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者 伊勢原市社会福祉協議会
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先 伊勢原市シルバー人材センター 伊勢原市老人クラブ連合会及び単位クラブ
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	シルバー人材センター運営支援	継続実施	
	教養趣味講座の実施	継続実施	
	老人クラブ活動支援	継続実施	
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの運営支援により、高齢者の就労支援や生きがいづくりの場を確保した。 ・趣味の教室として9講座を実施し、生きがいづくりの場を提供した。 ・老人クラブ活動では、健康づくり事業や教養講座等を開催すると共に社会貢献活動を実施した。 		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	シルバー人材センター就業者数	661人	621人

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		12,672		千円			千円		
内訳	国県支出金 ①	945		千円			千円		
	地方債 ②	0		千円			千円		
	その他特財 ③	0		千円			千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	11,727		千円			0 千円		
国県支出金の内容		(老人クラブ) 神奈川県高齢者在宅福祉事業費補助金 補助率2/3(上限あり)							
コスト	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期			
		その他		<ul style="list-style-type: none"> ・趣味の教室では参加費を徴収 ・老人クラブ活動では、各クラブにおいて会費を徴収 					
人件費	正規職員		0.04	人	346	千円		人	千円
	その他の職員		0	人	0	千円		人	千円
	人件費合計 (b)		0.04	人	346	千円		人	千円
トータルコスト (a)+(b)				13,018	千円			千円	
単位当たりコスト	対象数	定義		シルバー人材センター・老人クラブ会員数及び教養趣味講座の参加者数		単位		単位	
		対象数		3,566		人			
		総事業費／対象数		3,651		円		円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	シルバー人材センターの就業者数は、前年度より減少したものの、受注件数は増加している。老人クラブ活動、教養趣味講座は、概ね事業計画どおりの活動であった。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	シルバー人材センターへの補助費の率は、他市と同水準で実施している。老人クラブ活動は、近隣市とブロック活動等により交流することで、他市の活動を参考にして同等水準の活動を実施している。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	高齢社会が一層進展している中、高齢者が健康で心豊かに日常生活を送るため、本事業による生きがいづくりと社会貢献の場を提供していくことは、有効である。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	トータルコスト及び単位当たりコストのどちらも前年度対比で削減することができ、効率的に事業を実施することができた。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって日常生活を送るとともに、要支援・要介護状態になることを予防し健康寿命を延ばしていくため、高齢者が社会参加や社会貢献することのできる場を増やしていくことが必要である。
次年度取組方針		高齢者が元気に生きがいを持って日常生活が送れるよう、高齢者の社会参加を促進するため、引き続き、シルバー人材センターの運営支援、教養趣味講座の開催、老人クラブ活動支援を実施するほか、介護支援ボランティアポイント制度など、新たに社会貢献することのできる仕組みを構築するものとする。		
所管部長による総評		今後の高齢化社会の中で、社会参加や社会貢献を促進する必要がある、高齢者の生きがいづくりはますます重要になると認識している。引き続き、生きがいづくりの各事業を推進し、元気な高齢者の創出に努める。		